

様式第2号(第10条関係)

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

第5回佐伯市食育推進会議

2 開催日時

平成22年2月17日(水) 13:00から17:00

3 開催場所

- ・現地視察 山田農園(堅田) 高瀬水産(蒲江西野浦)
- ・事務協議 佐伯市役所

4 出席者

(委員等)

会長 梅田 一弘 委員 渡邊 武 委員 後藤 郁夫  
委員 河野 辰也 顧問 高野 美幸 顧問 松木喜美子  
顧問 吉良 栄三 顧問 高司 政文 顧問 首藤 睦子  
顧問 熊谷 耕一(計10名)

(市職員)

企画課長 飛高彌一郎  
企画課 総合政策係長 武田晴美  
企画課 染矢友和、柴田真佑(計4名)

5 公開、非公開の別

公開

6 傍聴人数

0人

7 議題及び結果

議題

- ・現地視察
- ・視察後協議
- ・食育推進啓発用「のぼり旗」等のデザインについて
- ・食育推進計画(仮称)の内容について
- ・今後の日程について

結果

現地視察として、山田農園(堅田)と高瀬水産(蒲江西野浦)を訪問し、現場の実情を見聞したほか、前回から内容協議を進めている食育推進啓発用「のぼり旗」等のデザインや食育推進計画(仮称)について、引き続き意見や要望等を寄せていただくことを申し合わせた。また、地域版食事バランスガイドの素案が固まったため、こ

れを提示し、併せて意見・要望等を求めることとなった。

なお、今回は3月5日(金)に開催。会議の後、地域食材を活用した料理の試食研修を行うこととなった。詳細は次項のとおり。

## 8 内容

前回(第4回推進会議)で決定したとおり、市内の第1次産業の実情を知る活動として現地視察を実施。山田農園(堅田波越)では、ホワイトアスパラとグリーンアスパラの育成状況等について、山田定男氏から説明を受けた。試行錯誤を繰り返し、アスパラの質・作業性ともに向上したが、自身が思い描いている風味とは、未だにかけ離れている状況ということ。今後も努力を惜しむことなく、品質を高めるとともに、後継者不足で衰退が予測される佐伯農業の未来を見つめ、こだわりを持って取り組む担い手の連携にも努めるという観点から、昨年「佐伯素食塾『財』」を立ち上げ、担い手の研鑽の場、関係者相互の交流の場として実施している。視察の中で山田氏は、「佐伯の環境を生かした農業を進めるべき。昔ながらの習わしも大切だが、変える勇気も必要」と語られた。その前向きで意欲的な姿勢に、視察者一同深い感銘を受けた。

高瀬水産(蒲江西野浦)では、ヒラメの養殖場を視察。代表の高瀬興治氏から説明を受けた。近年、経済情勢の悪化を起因として、通貨が下落した韓国から安価な養殖ヒラメが大量輸入されるようになり、約3年前の23業者から現在では14業者へと減少した。価格は、一時期ほどの下落値ではないものの、現在は安値安定の状況になっているということ。こうした状況下、高瀬さんは昨年、フグの養殖にも着手し、経営の安定化に努めている。魚離れ対策として魚食普及の活動にも積極的に取り組まれており、子どもたちやその保護者等にヒラメのさばき方を指導することも多いという。厳しい経営状況が続き、岐路に立たされるなかであるがゆえに高瀬さんは食育の重要性をあらためて実感しているということ。視察者からは、「同じ市民として、地元の魚を使おう、消費しようという前に、まずは知ることが大切。その中から、地域が取るべき施策も見えてきそうだ」という声があがった。

視察後、市役所で協議する中、委員等から出された主な意見の要旨は次のとおり。

- ・合併によって地域が大きくなり、地元食材が見えにくくなっている。
- ・一般市民も交えた地産地消研修や現地視察も必用ではないか。
- ・現場を知ると愛着がわく。生産現場を訪れたり、生産者の声を聞くことが大切。
- ・今日のような視察研修を市の取組として恒常的・定期的の実施できれば、かなり成果が上がるのではないか。
- ・山田さん、高瀬さんともに意欲的で感心した。頼もしく感じる。
- ・生産者と消費者、流通関係者、関係機関等が、より連携を強める必要がある。
- ・消費行動につながれば、生産意欲も向上する。
- ・生産と消費を結びつける人材の育成やシステムの構築が重要。

視察に時間を要したため、このほかの予定議題については、次のような取扱いとし

て次回につなげることとなった。

新たな書類として「地域版食事バランスガイド」の素案を提示とともに、食育推進啓発用「横断幕」等の文言やデザイン、佐伯市食育推進計画(案)について、引き続き2月末までをめどに意見や要望を寄せていただく旨を確認した。

なお、次回の推進会議は、3月5日(金)に開催することで決定。また、その会議後、視察させていただいたホワイトアスパラや養殖ヒラメなどの地域産食材を活用した「試食研修会」を、生産者との交流も兼ねて開催する旨を併せて確認した。

委員等から出された主な意見と事務局回答の要旨は次のとおり。

推進計画案の補筆や訂正等の意見・要望は電話でもよいか。

回答 結構です。内容の聴き取りをして、推進会議の際にその反映結果を報告の上、審議していただきたいと思います。

推進計画案で文章以外の提案、例えば写真の使い方などの意見でもよいか。

回答 結構です。計画書を作成する際の参考にさせていただきます。

これまでの話し合いの中で、大方の意見は出尽くした感じがするが。

回答 確かに多角的な各種の意見をいただきましたので、出来る限り計画書の中に反映させたいつもりです。ただし、全体的な印象やバランスなども考慮する必要がありますし、盛り込んでおくべき事柄や必要のないものなどを今一度点検する意味も込めてご審議いただければ幸いです。

細かい部分は、事務局にて調整すればよいのではないか。

回答 用字用語や写真の見せ方など、細かい印刷手法は事務局と印刷会社とで調整をしながら仕上げていくことになると思います。

横断幕等の推進啓発用物品は、今後は作成する予定はないのか。

回答 現在のところ、次の具体的な作成予定はありません。物品の劣化や補助事業等の有無等、今後、新たな作成の動機付けとなる条件が整えば、適時考えていくことになると思います。

## 9 資料名一覧

- ・第5回佐伯市食育推進会議資料
- ・現地視察行程表
- ・地域版食事バランスガイド(案)

## 10 問い合わせ先

担当課 佐伯市企画商工観光部 企画課 総合政策係

電話番号 0972-22-3111 内線378

直通 0972-22-3486